

【表1】

◆2017年度中に開設する施設◆

施設名		開設時期	事業費	施設名		開設時期	事業費
特別養護老人ホーム	あけぼの寿老園	17年10月	1億1,600万円	民間小規模保育園	げんき保育園	17年 4月	1,500万円
	いつかいち福寿苑	18年 3月	2億2,900万円		レインボー光明	17年 4月	1,600万円
	亀山の里	17年11月	9,600万円		HOPPA中広園	17年 4月	1,600万円
	こころ	18年 3月	1億2,300万円		ふるいち ちびっこの森	17年 4月	1,600万円
認定こども園	こうわ認定子ども園	17年 4月	9,900万円		ニチイキッズ西原保育園	17年 4月	1600万円
	ほうりん安こども園	17年 4月	7,900万円		保育所和ちゃん	17年 4月	700万円
児童館	緑井児童館	17年11月	1億8,700万円		くすの木保育園分園	17年 4月	1,600万円
	中島児童館	17年 5月	1億7,900万円		わくわく保育園井口明神	17年 4月	1,600万円
太田川学園児童部		17年 4月	1億3,800万円		HOOPA宝町園	17年 4月	1,600万円
消防署施設	安佐北消防団	17年 6月	4,100万円		くすの木保育園・戸坂	17年 4月	1,300万円
	中野分団押手車庫	17年12月	3,100万円	HOOPA古市園	17年 4月	1,600万円	
	安佐南消防団	18年 2月	5,200万円	ONE保育園	17年 4月	700万円	
	安佐北消防団飯室分団車庫	17年12月	4,200万円	五日市いちご保育園	17年 4月	1,600万円	
	中消防署白島出張所	17年 5月	5億5,600万円	いつかいち ちびっこの森保育園分園	17年 4月	1,600万円	
石内北小学校		17年 4月	24億8,400万円				

【表2】

◆広島広域都市圏の推進事業◆ 72事業 11億8,700万円

事業名	金額
* “神楽” まち起こし協議会 (6市町)	153万円
* “食と酒” まち起こし協議会 (全市町)	33万円
* 病院群輪番制病院運営費補助 (4町)	1億5,622万円
* 在宅医療・介護連携推進事業 (4町)	8,287万円
* 生活困窮世帯学習支援事業 (5市町)	1,054万円
* 病児・病後児保育事業広域利用 (全市町)	2億3,826万円
* ひとり親家庭学習支援事業 (海田・熊野町)	833万円
* 「ひろしま活力農業」経営者育成事業 (13市町)	3,824万円
* 低床低公害バス車両購入費補助 (府中町)	435万円
* バス運行対策費補助 (6市町)	4億6,747万円
* 放課後児童クラブ職員等専門研修 (18市町)	270万円
* みなとオアシスにぎわいづくり (7市町)	54万円

抜粋
機能サービスの向上
圏域全体の生活関連

日本共産党
市議団NEWS NO.81
2017年3月5日

発行 日本共産党広島市会議員団 広島市中区国泰寺町1-6-34 TEL 082-244-0844 FAX 082-244-1567

財政が大変でも大型開発は特別扱い

2017年度
予算特集号

— 子ども・高齢者にしわ寄せ —

2017年度一般会計の当初予算規模は、対前年度比7.8%の増で、政令市に移行して以来最大となりましたが、これは公立小・中学校の事務・権限が県から移譲されたため、これを除くと全会計の予算規模は、前年度比1.0%の減となりました。

市債は、対前年度比14.2%増の814億8,500万円で、2017年度末(H29年度末)残高見込みは約1兆1,200億円となり、国が平均値として示す10.6%を2%超過の12.6%となります。

(下グラフ参照)

広島広域都市圏の推進

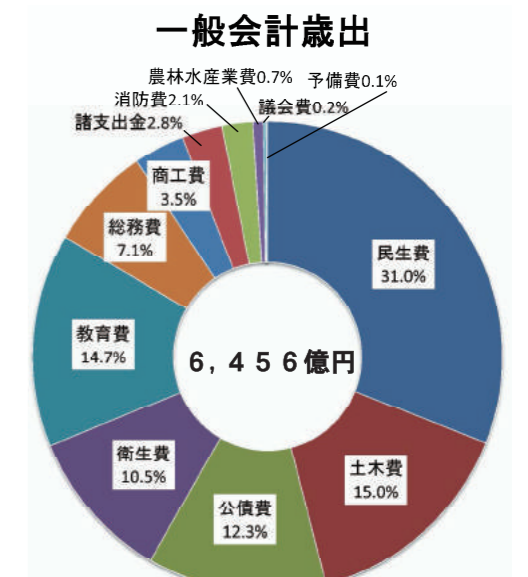
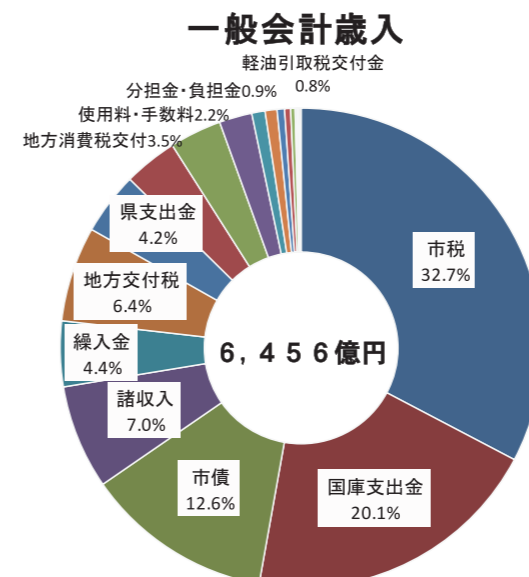
松井市長は昨年、国が推し進める「地方創生」の掛け声のもと、広島・山口県内の23市町の牽引車になる「200万人都市圏構想」を策定。2017年度には、72事業、11億8,700万円が計上されています。

(4面の表2参照)

当初予算案には、2019年度までの「財政運営方針」には示されていない、アストラムの延伸事業や、比治山「平和の丘」構想、西風新都環状線(善當寺工区)用地(130ha)を市が一括取得する予算が計上されています。さらに松井市長は、広域性を高めるとして、国道2号線高架延伸や駅北口のペDESTリアンデッキの延伸計画を打ち出し、大型事業に拍車をかけています。

市民のねがい切捨て

一方で、子育て世代に差別を持ち込むとして市民からも修正が求められていた、子どもの医療費助成制度の新たな所得制限が実施され、1万7,000人の子どもの窓口負担が4~6倍になりました。また、12万人が利用している高齢者公共交通機関利用助成制度を段階的に廃止する計画が浮上。子どもや高齢者に冷たい市政だと言わざるを得ません。



高齢者 パスピー守れ!

子どもの医療費 負担増やめて!

大型開発 ストップ!

拡 拡充事業 新 新規事業

子育て

☆ 拡 不妊治療費助成事業	2億4,471万円
☆ 拡 子どもの医療費補助 ※年齢は拡大はしましたが一部負担は増えました	28億8,550万円
☆子育てワンストップサービス	175万円
☆ 新 子どもの生活に関する実態調査	443万円

保育

☆保育園整備 民間保育園4園、小規模保育所6園等で614人の定員増	15億6,119万円
☆保育園耐震化対策 補強工事31園、補強工事実施設計30園	8億4,930万円
☆ 新 私立幼稚園耐震化整備費補助	4,884万円

教育

☆広島みらい創生高等学校整備	27億2,622万円
☆特別支援学校仮校舎整備 (12教室)	2億0,765万円
☆トイレの洋式化 (小・中・高 157個)	4,300万円
☆校舎等の増築検討 (伴小・祇園中・伴中)	900万円
☆ 拡 学校図書館の活性化	3,046万円
☆児童館の新設整備 (広瀬・安・みどり坂)	4億2,058万円

高齢者

☆ 新 高齢者いきいき活動ポイント事業	9,734万円
★高齢者公共交通機関利用助成 1人年間6千円⇒3千円に減額	
☆ 新 地域リハビリテーション活動支援事業	1,789万円
☆ 新 生活支援体制整備事業	6,455万円
☆民間老人福祉施設整備補助 (640人分)	20億4,600万円

障害児・者

☆ 新 重症心身障害児・者相談支援事業	326万円
☆ 新 地域生活支援拠点整備事業	99万円
☆ 新 市民後見人養成研修事業	853万円
☆民間障害者福祉施設整備補助 (87施設に防犯カメラ設置)	6,020万円

減災・防災

☆ 新 耐震シェルター等設置補助 (補助率1/2)	165万円
☆防災行政無線屋内受信機の増設	1億5,470万円
☆防災行政無線屋外スピーカーの増設	5,522万円
☆下水道による浸水対策 (22地区)	46億1,670万円
☆校舎非構造部材の耐震化対策	9,100万円

平和

☆ 新 ピースツーリズム推進事業	950万円
☆平和首長会議インターンシップ	576万円
☆民有建物等保存・継承事業への補助	3,513万円

経済・環境

☆保育・介護人材サポート事業	4,400万円
☆企業立地促進補助事業	18億8,110万円
☆ 新 店舗魅力向上型補助 210万円 (商店街活性化事業)	
☆恵下埋立地整備	24億8,850万円

大型事業

★広島駅自由通路等整備の推進	23億3,330万円
★広島駅南口広場の再整備等	1,844万円
★アストラムライン西風新都線整備の推進 (予備設計等)	8,000万円
★西風新都内幹線道路整備	3億8,087万円
★善當寺 (ぜんとうじ) 地区の土地取得	6億0,028万円
★比治山公園「平和の丘」に係る調査・検討	540万円
★高速5号線建設	38億5,600万円

まちづくり

☆交通施設バリアフリー化設備整備費 JR西日本 (株) へ1/3補助 (JR横川駅・新井口駅・五日市駅ホーム点状ブロックの改良)	3,560万円
☆南観音住宅の建替え (基本設計)	2,270万円
☆住宅団地における住替え促進モデル事業	416万円
☆集会所整備 (福祉環境整備、一般整備等)	1億7,480万円
☆地域コミュニティの活性化の推進	2,214万円

● 保育・介護人材サポート事業 給料引き上げこそ

保育・介護事業所での人員不足が社会問題になっているのを受け、地元企業、事業者、市が協力し、スーパーなどの割引サービスや買物補助券を配布し職員の処遇改善を図るといったもの。1人当たり1万2千円/年 (市と事業者折半)

● 高齢者切り捨て

● 高齢者公共交通機関利用助成廃止

現在、12万人の方が利用しているパスピーやタクシーチケット。「制度の目的以外に使用されている」というのが廃止の理由ですが、「買い物や病院通いも外出のきっかけづくりだ」として、制度の存続を求めるとの請願と陳情が提出されています。

● 比治山「平和の丘」構想 平和を理由に

被爆100周年を見据え、比治山公園を「国際平和文化都市」として第2期工事 (2021年度完成予定) で展望施設、ウェルネス施設、遊戯施設、プレイパーク等を整備する計画で、事業費については未定。

● 塩づけ土地購入?

● 西風新都環状線 (善當寺工区) 道路整備

民間事業者の開発にあわせて整備するとしていた環状線道路を、2016年12月に事業者が倒産したため、市が整備するとして130haの山林丸ごと取得する予算を計上。今後、塩づけ土地になる可能性が高い山林に、120億円もかけて道路を造ろうとしています。



6億円で購入しようとする山林 全面積130ha